

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 家畜伝染病検査体制整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2885)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,360 千円 (前年度予算額：2,921 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,921	1,460	0	0	0	0	0	0	1,461
要求額	3,360	1,680	0	0	0	0	0	0	1,680
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県の家畜保健衛生所では、各種の家畜疾病の診断を行うために、様々な検査機器を保有しているが、家畜伝染病予防法施行規則の改正に伴い、都道府県における家畜防疫体制の強化が求められており、検査機器の更新や増設が必要となっている。
- ・ 家畜疾病の診断を正確かつ迅速に行い、家畜防疫体制の維持・強化を図るには、検査機器の新規整備や更新を計画的に行っていく必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 家畜保健衛生所で使用する検査機器の整備・更新を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県：1/2、国：1/2 (消費・安全対策交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	3,360	検査機器の新規整備・更新経費
合計	3,360	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（R1～5）
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域
 - ④ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・新「ぎふ農業・農村基本計画」（R3～7）
 - (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
 - ④ 家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 家畜伝染病の検査体制の整備により、迅速、正確な診断をし、防疫体制を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

家畜疾病の診断で使用する検査機器を新規整備・更新するものであり、指標を設定することは適当でない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 中央家畜保健衛生所に O2・CO2 インキュベータを導入した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 O2・CO2 インキュベータの設置により、病性鑑定の高度化及び迅速化及び正確性を図ることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	家畜保健衛生所における家畜疾病診断で使用する検査機器の整備・更新を行う事業であり必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	家畜疾病の検査精度が向上し、検査の信頼性の確保につながった。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	最新機器の導入により、正確かつ迅速な検査が可能となっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 家畜伝染病予防法施行規則の改正に伴い、都道府県における家畜防疫体制の強化が求められており、機器の更新や増設が必要となっている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 家畜伝染病の検査体制の維持・強化を図るためには、検査機器の整備・更新が必要であり、計画的に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	